

川に親しむ人々

真光寺川を清流にする会
世話人 山口拓郎

こここのところ日の出が遅くなってきた。6時過ぎ、下堰親水で観測を始める頃ようやく東の空が染まり始めてくる。この時刻、散歩する人、ジョギングに汗を流す人、川沿いの道は次第に活気を帯びてくる。顔なじみになり挨拶を交わす人も増えてきた。観測結果や棲息する魚、鳥、爬虫類等について質問を受けることもある。又、往年の川の様子を語って下さる方もいらっしやる。短い遣り取りの間に、多くの方々が真光寺川に親近感を抱いていることが伝わってくる。川は無心に流れているが、人々の心を結びつける役割を果たしているのであろうか。

{8月}

8月7日(木) 里親通信印刷・配布
連日酷暑。2時から支所で里親通信を印刷。そして配布する。6時から魚民で一木会。川沿いの植栽について、議論が白熱する。

8月8日(金) 和光小、中島先生から資料「HATSのつどい」の「真光寺川何でも相談」に対する子供達の質問事項が送付されてくる。夏休みに入り子供達との連絡が大変な様子だ。

8月10日(日) 清掃作業
高曇り、酷暑幾分和らぎ助かる。権現橋下手に2m余りの青大将が蜷局をまいていた。終了後、いちよう会館で「HATSのつどい」の打合せ。2時解散。

8月14日(木) 水サンプル回収
連日の真夏日。5時に家を出る。下堰親水から開戸親水へ太陽に向かって歩く。6Km余り4箇所まで収集する。7時半帰宅。シャワーを浴びて一息つく。

8月15日(月) 和光、松井先生と連絡
「HATSのつどい」に「真光寺研究」の資料を貸して頂くよう依頼。快諾。

8月20日(水) 和光小へ
「HATSのつどい」に展示する「真光寺川研究」の資料をお借りするため伺う。校長先生にもお目にかかる。

8月22日(金)「HATSのつどい」初日
8時半に公民館が開くのを待って会場の設営にかかる。エコネットは良い場所に広いスペースを確保できた。

展示物は「エコネットの活動」「真光寺川の鳥」「和光小-真光寺川研究」「鶴三小-ごみ減量作戦」でいずれも力作ある。全員の協力で作業は順調に進む。和光小の松井先生も追加の作品を持って駆けつけて下さる。午後は視聴覚教室での発表「真光寺川何でも相談教室」。和光小の中島先生と児童、父兄が参加して熱心なやりとりがあった。引き続き「恩田川の魚・鳥」「滝ノ沢周辺の湧水」「レジ袋削減活動」の発表。何時も応援して下さいる角家先生や社会教育課の天野課長も熱心に聞いて下さる。

8月24日(日)「HATSのつどい」最終日
閉会式で生涯学習部長から総評があり、小学生の参加を評価するお言葉があったのは嬉しかった。3日間の会期を終えホッとする。

{9月}

9月10日(水) 里親通信・印刷・配布
里親通信を印刷、配布する。鶴三小で石渡副校長にお目にかかる。夕方、魚民で一木会。「水生生物調査」のこと等を相談する。

9月14日(日) 清掃作業・水生生物調査
酷暑。清掃作業。矢崎橋下流で自転車を引き上げたりして手間取る。11時、鶴三小の児童、20数名、上森、横倉先生に引率され下堰親水へくる。山岡さんの指導で「水生生物調査」にかかる。幅1m程の場所を区切り石を引き上げる。石に付着している昆虫、甲殻類、扁形動物等をピンセットを使っての丹念に採集し計測する。水質は残念ながら4段階の第3段階・汚い水と判定された。

9月18日(木) 真光寺中・出前講座
1年生100名を対象に出前講座。ここ数年

恒例となっている。「真光寺川の今昔」「棲息する鳥、魚」「ボランティア活動」等を話す。

9月20日「ボラティア養成講座」
ボランティアセンターが主催するボランティア養成講座で講師を務める。1名、清掃作業に参加したい旨、連絡があった。

9月22日(月) 和光小・広報部員来訪
「清流の会」の活動について取材を受ける。

9月24日(水) 水サンプル採集
薄明の5時20分に家を出る。天気もよく風が快い。能ヶ谷橋の上流に大型の石亀を発見。7時半に帰宅する。

9月25日(木) 真光寺中・清掃作業
午後1時半。1年生、100名が下堰親水に到着する。山本、生江さんが対応。上手と下手に分かれて清掃作業。午後3時、収穫したごみを手に元気よく帰途へ。

{10月}

10月2日(木) 鶴三小にてハチドリ教室
ハチドリ教室を主宰する黒津さんからの依頼があり、鶴三小を紹介し開催の運びとなる。ごみ減量作戦の出前教室である。紙芝居・ビデオ・分別作業・グループ討議・意見発表と手際よく進められる。4年生は楽しみながら「ごみ問題」への理解を深める。校長先生も感心しながら聞いておられた。

10月4日(土) 和光鶴小・秋まつり
快晴、気持ちのいい青空が広がっている。招



待された秋の文化祭に出かける。1年生から6年生まで日本各地の郷土芸能を生き生きと披露する。校庭の周囲を埋めた父兄から惜しめない拍手が寄せられていた。

10月5日(日)「ごみフェスタ2008」
秋空のもとリサイクルセンターで開催された。エコネットのブースは、鶴三小、和光鶴小と並べて設置された。エコネットの出し物は婦人班の「数珠玉のお手玉作り」。終日、子供達に人気があった。10時、第1ステージで鶴三小・4年生60名による「ごみ減量作戦」の発表。学習の成果があり多くの聴衆も感心して聞き入っていた。11時、第2ステージで和光鶴小・4年生の三陸地方の郷土芸能「中野七頭舞」の披露。キビキビした仕種が印象的だった。

10月8日(水) 里親通信・印刷配布
里親通信の印刷、配布作業。夕方、魚民で一木会。にぎやかだった。

10月12日(日) 清掃作業
快晴だが水は冷たい。和光鶴小の中島先生も参加される。作業終了後、二田さんが持参された彼岸花を皆で平成橋の土手に植える。反省会は省略して解散。

10月13日(月) 鶴四小・副校長より書簡
鶴四小は以前熱心に真光寺川での体験学習を実施し、出前講座にも再々伺った。先生が異動し交流は途絶えていたが、里親通信は引続き配達してきた。9月末、広川副校長から電話を頂き以前の交流の実情をお話した。書簡には来年度は計画に織り込みたいとあった。

10月14日(火) 麻生総合高より連絡
夜、須藤先生から、車椅子で参加する生徒がいる旨、電話がある。

10月16日(木) 麻生総合高、体験学習
快晴。9時30分、17名が尾根道を越えて広袴公園に来る。車椅子も参加。下堰親水・矢崎橋間の清掃作業。いちよう会館で昼食・懇談。13時、収穫したごみを持って元気よく帰って行く。

10月20日(月) 水サンプル採集
6時前、明るくなるのを待ちかねて家を出る。下堰親水の岩場に翡翠が2羽留まっていた。8時過ぎに帰宅。(この項おわり)